

営農支援課、菖蒲地区（北部エリア）担当の柴崎です。

菖蒲町の上大崎地区で生産者の方にご協力をいただきながら試験栽培している、青パパイヤ（オキテング）についてご紹介いたします。

JA南彩が特産に向けて栽培している青パパイヤも、いよいよ3年目になりますが毎年の異常気象等で栽培が不安定な部分があります。そこで何とかして栽培の確立がたく今年度は栽培指導する立場として苗を購入し実際に栽培してみました。

圃場面積 約80㎡ 株間3m 15本

施肥 4月9日 配合肥料7-6-7 苦土重過石 苦土石灰を全面散布  
ベッド作り 5月20日

追肥 定植1ヶ月後から7～10日おきにキッポ青を灌注

定植日は苗の生長と天候等考慮いたしまして5月23日とやや遅くなってしまいました。

圃場条件としては、草の生い茂る無耕作地ですが風通しが良く自然のパークで土質は柔らかい。

1ベッド5本植えで3パターン（①黒マルチ+寒冷紗・②黒マルチ+ワラ・③ワラのみ）で栽培。

初期成育では、①黒マルチ+寒冷紗が伸びが良かったが最終的には、②黒マルチ+ワラが花芽も早く一番生育が良く、③ワラのみは、伸びが悪く花芽も遅かった。

結果、全面施肥でもっと早い時期に大きい苗を②黒マルチ+ワラで定植が望ましいと考えます。

今後、圃場の条件も重要ですが青パパイヤの栽培が確立できるよう勉強していきます。



6月5日 120cm



9月8日収穫開始